

勘定科目の取扱いに関するガイドラインの修正概要

- ① 「Q4 EDINETタクソノミに、使用したい勘定科目が存在しますが、使用したい「区分」が異なります。どのように取扱うべきでしょうか？」の後段「使用したい勘定科目の区分が使用したい区分と異なる場合には、」以降を削除し、以下の記載を追加

使用したい勘定科目の区分が使用したい区分と異なる場合には、原則として当該勘定科目は使用できず、開示したい勘定科目を企業別タクソノミに追加することになります。その際には、冗長ラベルにおいて区分を設定することに留意して下さい。冗長ラベルの設定方法については、「企業別タクソノミ作成ガイドライン」を参照して下さい。

なお、「営業活動による収益」の区分に属する勘定科目を売上高や営業収益の区分で使用する場合、「営業活動による費用・売上原価」又は「販売費及び一般管理費」の区分に属する勘定科目を営業費用の区分で使用する場合のように、定義リンク、冗長ラベル等で異なる区分となっても、意味的に同一の区分と認められる場合には当該勘定科目を使用することができます。

- ② 「Q13 インスタンスに入力する値について、正負（プラス・マイナス）の判断に迷う勘定科目は、どのように処理すべきでしょうか？」の「表 2-7 インスタンス入力値の正負等」において、以下の記載を追加

No	勘定科目	インスタンス 入力値	タクソノミ	
			貸借区分 ※6	計算リンクの加 減算区分 ※6
5	売上値引及び戻り高	プラス	Debit	-1
6	仕入値引及び戻し高	プラス	Credit	-1
7	原価差額	原価の増加はプラス 原価の減少はマイナス	Debit	1
8	法人税等調整額	法人税等の増加はプラス 法人税等の減少はマイナス	Debit	1

- ③ 「Q14 その他の留意事項 (2) 特殊な勘定科目名の取扱い」の全文を削除し、以下の記載を追加

金額の正負によって名称が変わる勘定科目（例：「当期純利益」、「当期純損失（△）」、「当期純利益又は当期純損失（△）」）、集計を表す勘定科目（例：「資本剰余金合計」）、期首又は期末を表す勘定科目（例：「現金及び現金同等物の期首残高」、「現金及び現金同等物の期末残高」）は、名称リンクにより設定する必要があります。詳細は、「企業別タクソノミ作成ガイドライン」を参照して下さい。

- ④ 「Q17 新規追加勘定科目の英語名称に関する命名規約、及び留意事項はありますか?」の表 3-2 を削除し、以下の記載を追加

表 3-2 大文字・小文字・半角スペースの取扱い例

正誤	標準ラベル	冗長ラベル
○	<u>Accounts receivable-installment sales</u>	Accounts receivable-installment sales-CA-LEA
×	<u>Accounts Receivable-Installment Sales</u>	Accounts Receivable-Installment Sales-CA-LEA
×	<u>AccountsReceivable-InstallmentSales</u>	AccountsReceivable-InstallmentSales-CA-LEA
要素名：AccountsReceivableInstallmentSalesCALEA		

CA:流動資産(Current Assets) LEA:リース事業

(注)皆様から戴いたご意見を踏まえ、当初ガイドライン案に追加した部分を下線で表示しています。